

エレベーター閉じ込め19件

18日で発生から一カ月となる大阪府北部地震で、地震が起きた6月18日、阪神間ではエレベーター内での人の閉じ込めが全6市で計19件あったことが、各市への取材で分かった。女子小学生(10)や男子中学生(13)が、それぞれ一人で約1時間半閉じ込められたケースもあった。揺れを感じると最寄り階で自動停止する安全装置の未整備が一因とされ、宝塚市はエレベーターを緊急調査。7割近くが装置が義務付けられる2009年9月以前のもものと判明し、深刻な課題として浮上している。

大阪北部地震で阪神間6市

6月18日午前7時58分に起きた地震で、阪神間では最大で震度5弱を観測。エレベーター内の閉じ込めは、尼崎市3件▽西宮市4件▽芦屋市2件▽伊丹市5件▽宝塚市3件▽川西市2件。猪名川町はゼロだった。

芦屋市では女子小学生を乗せた集合住宅のエレベーターが5階付近で停止した。救急隊員やエレベーターの専門業者が駆け付け、約1時間半後に救出された。西宮市の男子中学生はマンション16階と17階の間に閉じ込められた。また、宝塚市のマンションのエレベーターでは34歳男性が約3時間閉じ込められた。西宮市のスーパーや市立川西病院でも従業員や清掃作業員が出られなくなり、救出された。

(27面参照)

宝塚 安全装置未整備7割

阪府北部地震で大阪など5府県でエレベーターの閉じ込めは計339件に上り、うち兵庫は41件だった。東日本大震災でも15都府県で、計210件の閉じ込めがあったという。近い将来の発生が懸念される南海トラフ巨大地震で、国は最大2万3千人が閉じ込められると見込み、火災や津波の発生などを考えると、長時間の閉じ込めは命に関わる。

閉じ込めを防ぐ効果があるのが、地震の揺れを感知すると最寄り階で自動停止し、ドアが開く「地震時管制運転装置」。09年9月の建築基準法施行令で導入が義務付けられた。ただ、そ

れ以前のエレベーターに対しては「付けて下さいとお願いするしかない」(国土省担当者)という。

大阪府北部地震の後、宝塚市消防本部は、まず実態を把握する緊急調査に乗り出した。同本部によると、市内にはマンションなどの民間施設や公共施設に計1198基のエレベーターがあり、09年9月以前のもものが820基を占めた。

このうち、これまでに約300基を調査したところ、追加整備した一部の事例を除き、ほとんどに管制運転装置が備えられていなかった。川西市でも17年度の調査で市内の計495基のうち、約66%に当たる325基で同装置が未整備だったという。

(まとめ・中島摩子)

◆地震時のエレベーター利用 注意点

【利用中に地震に遭遇したら】

- ①揺れを感じたら、行き先階ボタンをすべて押す。最初に停止した階で降りる
- ②閉じ込められたらインターホンで通報する。無理に脱出しようとするのは危険
- ③停電しても慌てず救出を待つ。非常用照明が点灯し、真っ暗にはならない

【地震発生時に利用していなかったら】

- ①避難にはエレベーターを利用しない。地震後に動いていても、地震感知センサーの働きや停電・故障などで緊急停止し、閉じ込められる恐れがある
- ②安全が確認されるまで利用しない。地震で損傷している場合があるため(日本エレベーター協会まとめ)

エレベーターの緊急調査を行う宝塚市消防本部職員＝宝塚市内

